

学 科	鍼灸マッサージ科	学 年	2 年生	期 別	前期 週 1 後期 週 2	科目の実務経歴	無
授業科目名	人体の構造と機能 V			担当教員	吉田麻吏・小谷奉弘		
授業の方法	講 義			単位数	3 単位	時間数	90時間
学修内容	あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師として、患者の診察及び治療にあたって、必要な人間の身体の構造及び機能について学ぶ						
授業の到達目標	Ⅱ. 医学的知識 1. 人体の構造と機能について理解する。						
授業計画	前 期			後 期			
	回	火曜日テーマ	回	木曜日テーマ	回	水曜日テーマ	
	1	解剖学の復習：泌尿器系	1	前期内容の復習 生理学：第9章 生殖・成長と老化 A. 生殖	1	1 1 章 筋 A. 骨格筋の構造と働き	
	2	生理学：第7章 排泄 A. 腎臓の働き	2	生理学：第9章 生殖・成長と老化 B. 妊娠と出産 C. 成長	2	1 1 章 筋 B. 筋の収縮の仕組み	
	3	生理学：第7章 排泄 A. 腎臓の働き	3	生理学：第9章 生殖・成長と老化 D. 老化 まとめと復習	3	1 1 章 筋 B. 筋の収縮の仕組み	
	4	生理学：第7章 排泄 B. 腎循環	4	解剖学：第9章 感覚器系 1. 視覚器 2. 平衡聴覚器	4	1 1 章 筋 C. 筋のエネルギー供給の仕組み	
	5	生理学：第7章 排泄 C. 尿生成	5	解剖学：第9章 感覚器系 1. 味覚器 2. 嗅覚器 生理学：第13章 感覚 A. 感覚の分類と一般的性質	5	1 1 章 筋 C. 筋のエネルギー供給の仕組み	
	6	生理学：第7章 排泄 D. 腎臓と体液の調節	6	生理学：第13章 感覚 B. 体性感覚 C. 内臓感覚	6	1 1 章 筋 D. 心筋と平滑筋	
	7	生理学：第7章 排泄 E. 蓄尿と排尿	7	生理学：第13章 感覚 D. 痛覚 E. 味覚と嗅覚	7	1 1 章 筋 D. 心筋と平滑筋	
	8	解剖学のまとめ・確認	8	生理学：第13章 感覚 F. 聴覚 G. 平衡感覚	8	中間試験、総合演習	
	9	生理学第7章のまとめと復習	9	生理学：第13章 感覚 H. 視覚 まとめと復習	9	1 2 章 運動 A. 骨格筋の神経支配	
	10	解剖学：第6章 生殖器系 1. 男性生殖器	10	6章 体温 A. 体温調節 B. 体熱の産生と放散 C. 発汗とその調節	10	1 2 章 運動 A. 骨格筋の神経支配	
	11	解剖学：第6章 生殖器系 2. 女性生殖器	11	6章 体温 D. 体温調節の障害	11	1 2 章 運動 B. 運動の調節	
	12	解剖学：第6章 生殖器系 3. 受精と発生	12	15章 身体活動の協調	12	1 2 章 運動 B. 運動の調節	
	13	解剖学のまとめ・確認	13	15章 身体活動の協調	13	1 2 章 運動 C. 錐体路と錐体外路系	
14	生理学第6章のまとめと復習	14	後期まとめと復習	14	1 2 章 運動 C. 錐体路と錐体外路系		
15	期末試験対策	15	期末試験対策	15	1 2 章 運動 D. 発声と言語		
評価基準	評価：90-100点(A評価)、80-89点(B評価)、70-79点(C評価)、60-69点(D評価)、59点以下(F・不可)						
評価方法	各種小テスト、定期試験により総合的に評価いたします			実務経験	教員歴4年		
履修上の注意	1年次および2年次の人体の構造と機能(I・II・III・IV)の内容を基に授業を進めます。			授業時間外の学習	人体の構造と機能(I・II・III・IV)の内容を随時復習すること。		
使用教材	東洋療法学校協会 編「生理学」「解剖学」			連絡先	質問または相談があるときは職員室を訪ねてください。		